

科目コード	2697220	授業概要	【授業内容】 本授業では、美術作品がなぜ作られるのか、どのような作品が優れた作品なのかを解説します。合わせて、どのような考えに基づいて自分の作品を洗練させるべきか、他人の作品を鑑賞する際の心構えについても考察します。また、遠近感を表現する代表的な技法である、透視図法（パースペクティブ）の仕組みや使い方を学びます。実際に、透視図法を活用した作品の制作と発表を行います。 【到達目標】 美術作品の基本的な構造を理解できる。透視図法（パースペクティブ）を理解し、作品制作で活用することができる。自ら設定したテーマに基づいて作品を制作することができる。自分の作品を洗練させることができる。 【授業テーマ】 第1回 美術作品とは何か 第2回 透視図法（パースペクティブ）の仕組み 第3回 建物の外観を透視図法で描く 第4回 室内を透視図法で描く・成果物の発表 第5回 優れた作品を作るまでの流れ 第6回 作品のテーマを絞り込む 第7回 透視図法を活用した作品制作 第8回 作品の発表・まとめ 【学生へのメッセージ】 本授業の半分は実技です。能動的に考え、手を動かし、制作してください。作品の発表には、積極的な参加をお願いします。 【受講前の準備学習等】 可能な限り、以下の準備を行ってください。 ○ 透視図法（パースペクティブ）を解説している本に目を通す。 ○ 鉛筆デッサンの入門書に目を通す。 ○ 作品にしたいテーマを考えておく。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	山口学習センター		
学習センターコード	35A		
クラスコード	K		
科目名	透視図法と美術表現		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名	授業概要	【授業テーマ】 第1回 美術作品とは何か 第2回 透視図法（パースペクティブ）の仕組み 第3回 建物の外観を透視図法で描く 第4回 室内を透視図法で描く・成果物の発表 第5回 優れた作品を作るまでの流れ 第6回 作品のテーマを絞り込む 第7回 透視図法を活用した作品制作 第8回 作品の発表・まとめ 【学生へのメッセージ】 本授業の半分は実技です。能動的に考え、手を動かし、制作してください。作品の発表には、積極的な参加をお願いします。 【受講前の準備学習等】 可能な限り、以下の準備を行ってください。 ○ 透視図法（パースペクティブ）を解説している本に目を通す。 ○ 鉛筆デッサンの入門書に目を通す。 ○ 作品にしたいテーマを考えておく。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	ヤマグチ イサオ 山口 功 美術作家・英語講師		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	山口学習センター		【受講者が当日用意するもの】 スケッチブック（画用紙・A4サイズ程度）、鉛筆（H・HB・2B）、定規2本（60cm程度と20cm程度）、デッサン用練りゴム、消しゴム、鉛筆削り ※ 鉛筆は「三菱鉛筆ハイユニ」などデッサンに向くものが望ましい。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。